

製品名: CaMKV ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07897**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	CAMKV
別名	CAMKV; CaM kinase-like vesicle-associated protein
遺伝子 ID	79012.0
SwissProt ID	Q8NCB2
免疫原	抗血清はヒト CAMK5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

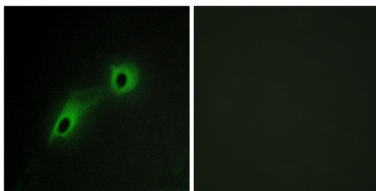
背景

補因子:カルシウム。ドメイン:タンパク質キナーゼドメインは、触媒的に不活性であると予測されます。機能:検出可能なキナーゼ活性は見られません。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。類似性

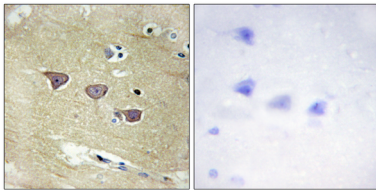
似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。細胞内局在:主に細胞体の細胞膜および神経突起(軸索と樹状突起の両方)に存在します。小胞構造と関連する場合があります。サブユニット:カルシウム存在下でカルモジュリンと相互作用します。補因子:カルシウム。ドメイン:タンパク質キナーゼドメインは、触媒的に不活性であると予測されます。機能:検出可能なキナーゼ活性は見られません。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。細胞内局在:主に細胞体の細胞膜および神経突起(軸索と樹状突起の両方)に局在する。小胞構造と関連する場合もある。サブユニット:カルシウム存在下でカルモジュリンと相互作用する。

研究分野

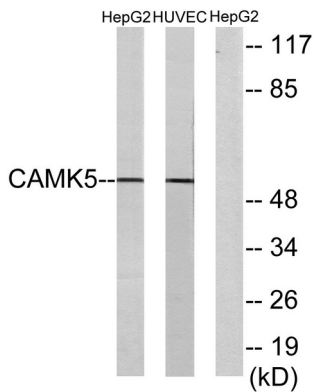
画像データ



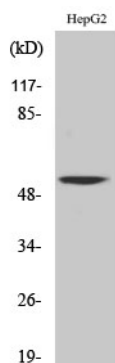
CAMK5抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CAMK5抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CAMK5抗体を用いたHepG2細胞およびHUVEC細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CaMKVポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

